

【ご参考資料】

2015年8月24日

欧米株式市場の下落について

ポイント1 主要指数が大幅下落

8月21日金曜日、米国株式市場では主要指数が大幅に下落しました。S&P500は3.2%の下落となり、今年5月に付けた高値から7.5%の下落となり、昨年10月の水準まで下落、今年の上げを全て失いました。

米国に先立つ格好で、欧州でも株価が大幅に下落、ユーロストックス600指数は3.3%下落し、今年1月の水準まで下落しました。

ポイント2 中国製造業の景況感が予想以上に悪化

きっかけは、8月の中国の製造業の景況感を示す財新中国製造業PMI（購買担当者景気指数）速報値が0.7ポイント悪化したことと見られています。6年5か月ぶりの低水準に落ち込み、中国経済の減速が世界経済の成長にブレーキをかけるとの見方が強まりました。

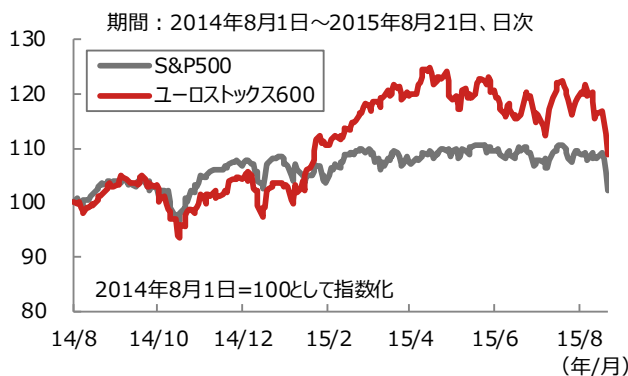
中国製造業の減速懸念は昨年来のことであり、目新しい材料ではありませんが、やや割高なバリュエーションが相場下落につながったと思われます。

ポイント3 しばらくは警戒的に見る必要あり

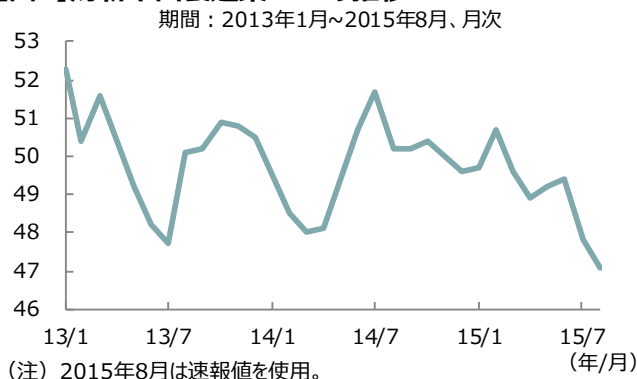
米国企業の今年の増益率はほぼゼロ（横ばい）と予想されていましたが、株式市場のバリュエーション（PER等）は業績上方修正を期待して、やや割高に推移していました。

しかし、世界景気の減速懸念が高まったことで、割高なバリュエーションの是正（適性値への低下）が始まったものと思われます。今後の見通しとしては、S&P500で見ても、まだ割高感が残っており、しばらくは警戒的に見る必要があるでしょう。

【図1】S&P500とユーロストックス600の推移



【図2】財新中国製造業PMIの推移



【図3】S&P500の予想PER（株価収益率）の推移

